

## ■ コーディングスタイル

プログラムは、コンピュータのためだけにあるのではなく、人間が読んで、その内容を理解するためにもあります。

プログラムを書いた人が読むだけではなく、他の人が読む場合もあります。したがって、読みやすいように、内容を理解しやすいように書く必要があります。読みやすいプログラムを書けるようになるためには、誰か他の人の（できれば上級者の）書いたプログラムのスタイル（コーディングスタイル）を真似て書くことが大事です。

読みやすいコーディングスタイルのための、いくつかのポイントを挙げておきます。

### 1. 適切な場所に空白を入れる

コンマの後、`for(...; ...; ...)` のセミコロンの後

```
int x, y, z;
```

代入演算子(=, += など)、比較演算子(==, < など)、二項演算子(+, -, && など)の前後

```
a = x + y;
```

`if`, `for`, `while`, `switch` などに続く `()` の前後

```
for (i = 0; i < 10; i++) {
```

### 2. 適切な場所に空行を入れる。

関数定義と関数定義との間

```
int f()
{
    ...
}
```

```
int g()
{
    ...
}
```

関数内の変数宣言文と実行文との間

```
int f()
{
    int a, b;

    a = 10;
    ...
}
```

3. 段下げ (インデントーション) をきちんと行う  
{ } の中身 (ブロック) は一段下げる。

```
for (i = 0; i < 10; i++) {
    if (i < 5) {
        a = i;
        while (a > 0) {
            a -= 2;
            if (a == 5) {
                b++;
            } else {
                b--;
            }
        }
    } else {
        switch (i) {
            case 5 :
                b = a;
                break;
            case 6 :
                b = a + 1;
                break;
            default:
                b = a + 2;
        }
    }
}
```

コーディングスタイルには色々な流儀があり、その中のどれが良いかということはいえません。しかし、コーディングスタイルに気を遣う、ということと、コーディングスタイルを統一する (少なくとも一つのプログラム中では)、ということを守ってください。